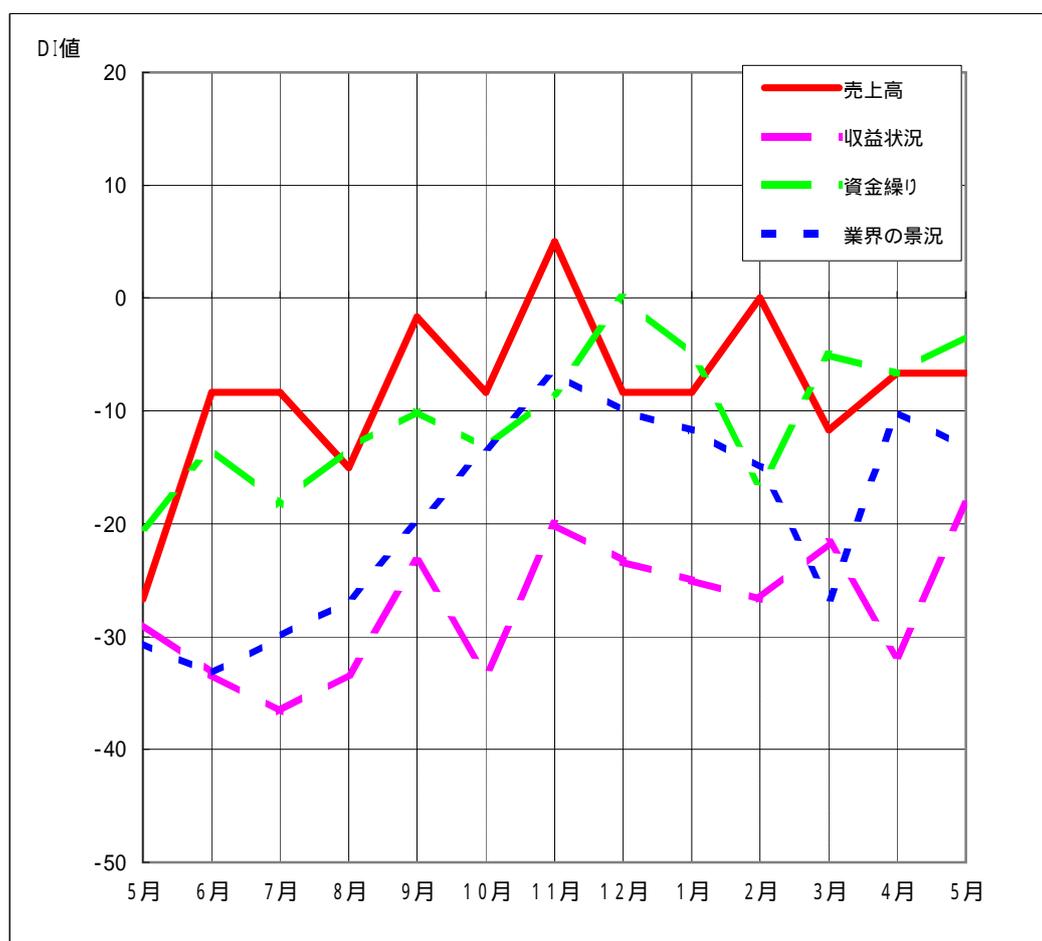


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成17年5月～平成18年5月

単位:ポイント



	H17					H18							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高	-26.7	-8.3	-8.3	-15.0	-1.7	-8.3	5.0	-8.3	-8.3	0.0	-11.7	-6.7	-6.7
収益状況	-28.8	-33.3	-36.7	-33.3	-23.3	-33.3	-20.0	-23.3	-25.0	-26.7	-21.7	-31.7	-18.3
資金繰り	-20.3	-13.3	-18.3	-13.3	-10.0	-13.3	-8.3	0.0	-5.0	-16.7	-5.0	-6.7	-3.3
業界の景況	-30.5	-33.3	-30.0	-26.7	-20.0	-13.3	-6.7	-10.0	-11.7	-15.0	-26.7	-10.0	-13.3

5月のDI値をみると、前年同月より上記全項目で好転した。「売上高」については前年同月より20.0ポイント改善し、マイナス桁台を継続。「収益状況」については、10.5ポイントの改善でマイナス18.3に推移した。「資金繰り」については、17.0ポイント改善し、マイナス桁台を継続中。「業界の景況」についても17.2ポイントの改善でマイナス13.3に推移した。
ここ3ヶ月の傾向値をみると中小企業の業況は、一進一退に推移しており、厳しい状況が続いていることが伺われる。

組合の特記事項からは、製造業では、前月に引き続き「鉄鋼・金属」の一部で企業間格差はあるものの受注は安定しているとの報告が見受けられた。しかし石油をはじめとする原材料価格の高騰についての報告が多く、収益性はいまだ厳しい状況である。
非製造業についても原油高の影響に関する報告が多く、「売上高」減・「業界の景況」悪化とする回答が多く見られた。また、「取引条件」については製造業・非製造業ともに好転とする回答は0という結果であった。
中小企業の景況は、原材料費高騰を中心に厳しい現況であることが窺える。